

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザ予防接種を実施するに当たって、健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者をご記入ください。

1. ワクチンの効果と副反応

○ 効果：インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。

また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

○ 副反応

- ・ 重大な副反応：ショック、アナフィラキシー様症状（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）があり、そのほとんどは、接種後 30 分以内に起こります。
- ・ 局所症状：発赤、腫脹、痛み等、通常は 2～3 日で消失します。
- ・ 全身症状：発熱、悪寒、頭痛等、通常は 2～3 日で消失します。
- ・ 過敏症状：まれに、発疹、湿疹、紅斑、かゆみなどが起こります。
※ 強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので、必ず医師に申し出てください。
※ このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出てください。

2. 予防接種を受けることができない者

- (1) 接種当日、明らかに発熱（37.5℃以上）がある者
- (2) 重篤な急性疾患にかかっている者
- (3) 予防接種の接種成分によって、アナフィラキシーショックを呈したことが明らかな者
- (4) インフルエンザの予防接種で、接種後 2 日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- (5) その他、予防接種を行うことが不適當な状態にある者

3. 予防接種を受ける際に注意を要する者

- (1) 心臓、腎臓又は呼吸器の機能に、日常生活活動が極度に制限される程度の障害のある者
- (2) ヒト免疫不全ウイルスにより、免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害のある者

4. ワクチン接種後の注意

- (1) インフルエンザワクチンを受けた後 30 分は、急な反応が起きることがあるので、医療機関で様子を観察し、医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- (2) インフルエンザワクチンを受けた後、1 時間経過すれば入浴は差し支えない。
- (3) 接種後は、接種部位を清潔に保ち、過激な運動、大量の飲酒は避けましょう。
- (4) 万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

